

新任部長のご挨拶

眼科 部長（教授）
木村 修平（きむら しゅうへい）

認定医・専門医・指導医

日本眼科学会専門医・指導医

眼科PDT認定医

難病指定医（眼科）



このたび、2025年4月1日付で川崎医科大学眼科学教室1の主任教授および川崎医科大学附属病院眼科部長を拝命いたしました木村修平と申します。倉敷市の出身で、2001年に岡山大学医学部を卒業後、倉敷中央病院、岡山大学大学院、倉敷成人病センター、姫路赤十字病院で研鑽を積み、2012年からは岡山大学にて助教、講師、准教授を務めてまいりました。このたび御縁があり、約20年ぶりにふるさと倉敷の医療に携わることとなり、心より嬉しく感じております。

私の専門は眼科の中でも白内障と網膜硝子体疾患に対する外科的治療です。眼の手術と聞くと怖い印象を持たれる方が多いと思いますが、メリット・デメリットを患者さんによく説明し、「自分や自分の家族だったらどうしてほしいか」を常に考えながら診療に取り組んでいます。

今後、診療・教育・研究の三本柱を大切にしながら、地域に根ざした眼科医療の発展に努めてまいります。温かいご指導とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医師の動き

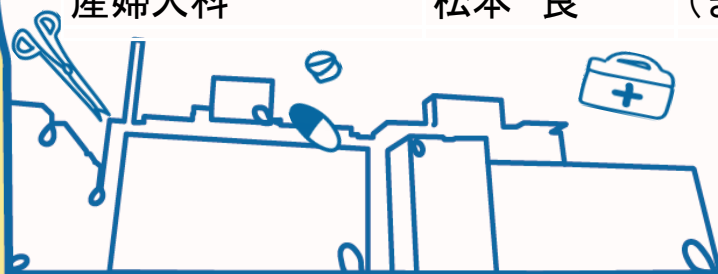
＜新任医師 2025年5月1日付＞

産婦人科

松本 良

（まつもと りょう）

医長



川崎医科大学附属病院 地域医療連携室
〒701-0192 倉敷市松島577

TEL : 086-464-1567

FAX : 086-464-1166

MAIL : renkei@med.kawasaki-m.ac.jp

診療のご案内

「総合診療センターについて」

特別院長補佐

総合診療科 部長（教授）
和田 秀穂



認定医・専門医・指導医

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本血液学会血液専門医・指導医
日本輸血・細胞治療学会認定医
日本感染症学会感染症専門医・指導医・認定ICD
日本性感染症学会認定医
日本エイズ学会認定医・指導医

総合診療センターの役割

総合診療センターは、疾患が複雑で多岐にわたる患者に対して包括的な診療を行う部門です。特定機能病院では、高度で専門的な医療の提供が求められますが、総合診療センターを担当する医師は、専門領域に限らず、全体的な健康状態を把握し、通院歴や生活習慣、家族歴を考慮して診療を行います。これにより、患者の多様な症状を総合的に評価し、治療計画を立てることが可能です。具体的には、その機能は大きく2つに大別できます。

(1) 総合診療専門医としての教育と研修

総合診療センターの中心を占める総合診療科は、医療従事者の教育や研修にも貢献しています。特に、総合診療専門医は後進の育成を担い、医学生や研修医に対して広範な知識とスキルを伝える役割を果たします。また、多職種連携やチーム医療の重要性を実践的に学ぶ機会を提供し、病院内での医療の質向上にも寄与することを目指します。

(2) 患者の適切な診療科への誘導

総合診療センターはファーストコンタクトセンター（FCC）の機能も担っています。振り分け外来を行うことで、患者が適切な診療科に早期に振り分けられるようになります。特定機能病院では高度な専門的医療が提供されるため、多くの専門科が存在します。FCC担当医は、患者の症状や状態を総合的に評価し、予約のない患者をまず診療することで診療科ごとの負担を軽減し、最も適切な専門科へ紹介することで、患者にとって効率的でスムーズな治療の流れを実現します。FCCの存在は、各専門科の協力のもと、病院にとって重要な役割を果たします。